

市政モニター 施設見学・市長との座談会



去る1月7日、昨年度に引き続き、市政モニター12人の参加により、市の施設（片山一般廃棄物最終処分場、一般廃棄物最終処分場八京地区建設現場、国分川岡豊橋・水道橋防災監視カメラ、市役所において防災監視カメラの画像）を見学の後、市政モニター会長、副会長の司会のもと、「施設の感想を含め、今後の南国市のまちづくり」をテーマに、市長との座談会が行われました。

内容は、あらましです。

市長 昨年は、南国市の新しい産業拠点などを見ていただきましたが、今日はがらりとそういう派手な面ではなく、国分川に設置いたしておらず河川監視カメラやモニターも見ていただいたと思います。が、防災システムまた八京の新しいゴミの埋め立て処分場、共に市民の方々が安心して暮らしていくうえで必要な一つの基盤として今整備しております。その感想などをもとに、南国市のまちづくりについて、ご意見ご質問などお気軽におっしゃっていただきたいと思います。

会長 市の施設を見せていただいたわけですが、決して市としては、こういう立派な施設があるので安心して、ゴミをたくさん出して欲しいと言っているのではなく、こういう施設があるけれど、できるだけゴミを少なく出すことによって市の税金も節約できるし、省エネに対する気持ちをお我々に投げかけたんじゃないかと思います。

副会長 今年、市長さんの考えておられることが広報に載っておりましたが、その中で「ゴミを出さない市役所元年」ということが出ておりました。私も、大変同感です。

モニター 新しい処分場が総工事費40億円と資料に出ておりますが、その費用の内訳といいますが、返還しなくてもいい国の補助額がどれくらいで南国市がどれくらい負担しなくてはいけないのか、お聞かせ願えますか。

市長 ごく大ざっぱに申し上げますと、投資した費用の75%が国の方から地方交付税などで返ってくる仕組みになっております。残り25%は、まるっきり税金で、借りたお金は返さないといけないし、税金負担に当たるといいます。

モニター 片山でいっぱいになって、今度は八京。八京で20年間処理して、20年後はまた次のところになってきますと、山の中は処分場だらけになるんじゃないかと思えます。心配なことは、地下水の汚染だとか周りの環境汚染問題です。市長さんの方針では、ゴミを減らすということをおっしゃっていますが、これは素晴らしいことだと思います。20年先に、次の施設を造ることよりも前にゴミを出さない、そして、最後はリサイクルしてもう一度使うというようなお考えを具体的に教えていただきたいと思います。

市長 国も環境基本法をもとに法整備をほぼ終えまして、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、次は建築資材のリサイクルというようにだ

—市政モニター—座談会—

んだん再資源化の法律が出てまいります。新しい処理場を20年で更新しなくても、その倍くらいは持たせるといいうにゴミの量を減らしていく、

そのためには市役所からゴミを出さないということ率先しようということでも何もこういう方法があるという決め手はもっていませんが、ただ現在環境基本計画というものを作っています。これは市役所もそうですが、市民の皆様にも対応するものです。そういうことで少しでもゴミが減る状態をつくりたいと思います。

企画課長

先ほどの工事費用のことですが、40億円の中で12億円は用地費、補償費などで、本体工事費は28億円、このうち5億円が国の補助、20億円が市債、市費が3億円となっており、用地費などの12億円と市費の3億円、あわせて15億円が市の負担となります。これを約20年間で償還していくことになります。

会長

工事費が何億円かかったと言いましてもゴミを出す方にその感覚がわりにならない

ですよね。自分が出すゴミに対して一体いくらになるのか、そういうことをこれから肝にめいじていく時代が来るでしょうね。

モニター

最初に行った片山の処分場はちよつとショックを受けました。個人的にもゴミを減らさなくてはいいなと思います。同時に、物を大切にすることが必要ですね。捨てるのはいいんですけどその後を考えていませんね。いい物を長く使い大切に使う、そういうことが、これからの教育に必要なかと思ひます。

モニター

新しい処理施設と私の地元の片山の処理施設を見せただけでしたが、地元の施設は新しい施設に比べて随分小さいのによく25年間もちこたえたなあ、ありがたいなあ、と思いました。ゴミとかチリだけの問題でなく、地球もすべて使う者の意識、使いようによって耐用年数が随分違うと思います。

会長

精神的にゴミをなくそうということを全国で協力

しますと18%ぐらいゴミが減るらしいですね。この根本を各自が自覚するとかかなりの節約ができるということですね。

モニター

私の感想は、人口増加など今の社会情勢から考えますと、新しい施設が15年、20年もつかないという感じで見せていただきました。だから、これからのゴミをいかに減らすかというソフト面にかかってくるんじゃないかと思ひます。

防災システムについては、この施設を市民のために、もう少しネットを広げどう利用していくかというところが非常に大事ではないかと思ひます。あまりお金がかららない方法で、例えば気象庁などと連動させる方法で運用していったら変わるんじゃないかなと思ひます。

企画課長

今、県のほうで防災ネットワークを組もうという動きがございます。これは2001プランというスパーハイウェイにのせて行う

訳なんです、それで今回補正予算に計上し、県とのネットワークを組む準備をしているところですよ。

市長

ゴミを減らすには、行政が指導して市民運動を起こしていく必要があると思ひます。防災監視カメラを見ていただいたと思ひますが、国分川の改修工事もお目に止まったと思ひます。あの工事を行っても、98豪雨の浸水地域の全ては解消できないことははっきりしています。すると最後は自主防災組織をつくらなくては



いけないというところで地域に自主防災組織をつくって

くださいとお願いをしています。それと同様に、各地域へゴミの減量化推進運動のようなものをつくっていただくか。そのためにはまず市役所からやる。ゴミを出さない市役所づくりは現実的には大変厳しいと認識していますが運動として進めていきたいと思ひます。